

## 1. 学歴

1980年 3月 東北大学文学部卒業  
 1980年 4月 東北大学大学院文学研究科前期課程入学  
 1982年 3月 同修了

## 2. 職歴・研究歴

1982年 4月 東北大学文学部助手  
 1984年 4月 福岡大学人文学部専任講師  
 1990年 4月 一橋大学経済学部専任講師  
 1993年 4月 一橋大学経済学部助教授  
 1994年 9月 ケンブリッジ大学英語学部客員研究員(1995年7月まで)  
 1995年 9月 ダブリン大学トリニティ・カレッジ英語科客員研究員(1996年3月まで)  
 2006年 7月 一橋大学大学院経済学研究科教授

## 3. 学内教育活動

### A. 担当講義名

#### (a) 学部学生向け

英語IA, 英語IIリーディング, 英語IIIリーディング, 経済文化

#### (b) 大学院

各国経済思潮

### B. ゼミナール

学部前期, 学部後期, 大学院

### C. 講義およびゼミナールの指導方針

英語IAでは、新聞雑誌記事を講読し、主に英文読解力をつけることを主眼にしている。語彙力養成のため、英英辞書の使用を奨励している。授業では訳読はあまり重視せず、音読、単語・慣用句・構文・類義語と反義語・派生形・語源などの理解を重視する。また英文レポートを書く作業を通じて表現力の養成も目指す。

経済文化では *The Financial Times* 紙などを扱い、経済関連の語彙や表現を学ぶことにより、やや高度な経済英語力の養成を目指す。

学部ゼミナールは共通ゼミとして開いている。テーマは 17-20 世紀イギリスおよびアイルランドの文化と間口が広いが、具体的な研究テーマは参加者と相談して決める。3 年次は基本的文献の精読、4 年次は卒業論文の製作のための調査と定期的な中間報告に充てる。

各国経済思潮では 18 世紀英國経済思想について、当時の文献を読みながら考察する。大学院ゼミナールでは受講者と相談の上、テーマを決めてイギリス関連の問題について研究する。

## 4. 主な研究テーマ

- (1) 17・18世紀英國の文學と思想
- (2) ジョナサン・ス威フト
- (3) サー・ウィリアム・テンプル

## 5. 研究活動

### A. 業績

#### (b) 論文(査読つき論文には\*)

- \* 「字義化された書物—ス威フトの『桶物語』における活字印刷上の工夫—」『試論』第22集, 1983年7月, 43-65頁。
- \* 「ス威フトの初期風刺作品にみられるホップズ的要素」『試論』第26集, 1987年7月, 19-41頁。
- "Thomas Hobbes and the Satire on Enthusiasm in Swift's *A Tale of a Tub*" 『福岡大学総合研究所報』第107号, 1988年3月, 11-25頁。
- "Thomas Hobbes and Swift's *A Tale of a Tub* : An Essay on the Problem of Criticism" 『福岡大学総合研究所報』第108号, 1988年3月, 15-27頁。
- 「ス威フトの医学的風刺」『一橋論叢』第105巻第3号, 1991年3月, 326-340頁。
- \* "Swift and the State-Physician" 『試論』第31集, 1992年6月, 23-29頁。
- "Jonathan Swift and Freemasonry," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 38, No. 1, 1997, pp. 13-22.
- 「ジョナサン・ス威フトと医師たち」『一橋論叢』第118巻第3号, 1997年, 438-454頁。
- 「サリー州マニアパーク—サー・ウィリアム・テンプルの屋敷とその歴史」『言語文化』第35号, 1998年, 69-80頁。
- 「サー・ウィリアム・テンプル(1628-1699)」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第36号, 1999年, 179-220頁。
- "The Economic Theme in *Gulliver's Travels*," *Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 42, No. 1, 2001, pp. 41-58.
- 「ジョナサン・ス威フトと政治経済」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第39号, 2002年, 99-157頁。
- 「『桶物語』の政治的意義」『言語文化』第42号, 2005年, 61-75頁。
- \* "Swift on Conspiracy" 日本ジョンソン協会編『十八世紀イギリス文学研究』第3号—躍動する言語表象』(開拓社, 2006年), 172-94頁。
- 「近代初期英國におけるフリーメイスン」『言語文化』第44巻, 2007年, 3-17頁。

### B. 最近の研究活動

#### (a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には\*)

18世紀イギリス文学文化研究会

#### (d) 研究集会オーガナイズ

18世紀イギリス文学文化研究会

## 7. 学外活動

#### (a) 他大学講師等

中央大学法学部

(b) 所属学会および学術活動

日本ジョンソン協会(2009-2012年新人賞選考委員長), The Ehrenpreis Center(Westfälische Wilhelms 大学),  
18世紀イギリス文学文化研究会(発表およびオーガナイズ)